

**坂下高校**  
賢・剛・優

**学習成果発表**

1月26日(金)、学習成果発表会が行われました。「普通科3年生」、「生活デザイン科3年生」、「地域探究科1・2年生」の生徒たちが学習成果を発表しました。普通科・地域探究科ではゼミ形式で進めてきた探究学習について、取り組んだテーマのプレゼンテーションがありました。生活デザイン科はフードコースによるライブステージに合わせた料理提案、保育コースによる保育劇の上演など、多様なステージ発表となりました。「普通科」「生活デザイン科」については本年度で終了となり、来年度からは、「地域探究科」として3学年揃います。岐阜県で唯一の「地域探究科」と、岐阜県で3校にしか設置されていない「福祉科」とともに、2学科体制で坂下高校の新たな伝統を築いていきます。



**坂下中学校**  
超升先輩

**百人一首大会**

12月11日(月)より1か月間取組を行ってきた百人一首の大会を1月9日(火)、10日(水)に学年ごとに実施しました。この大会に向けてどの学級も朝の活動時間を使って練習をしてきました。大会当日は、その成果が存分に発揮され、上の句を聞いて、すぐに反応し札をとる姿がありました。日々ひたむきに努力することの大切さを実感できたことと思います。また、百人一首大会のねらいである、仲間と楽しく取り組み、日本の伝統文化の良さを感じることができたと思います。今後も日本の文化や故郷やさか地区の伝統文化に目を向けふるさとを愛する心を高めていってほしいと強く願っています。



**坂下小学校**  
ひとりだち

**授業参観**

2月2日(金)、今年度最後の授業参観がありました。学級ごとに縄跳びや剣玉、楽器などできるようになったことを披露したり、防災のこと、坂下の町のこと、お米作りのこと、スピーチなど学習してきたことを発表したりしました。児童は「上手にできるか、ドキドキした。」「うまく発表できて嬉しかった。」などの感想を話していました。参観された保護者からは「久しぶりに子供たちの歌声を聞いて感動しました。」などの感想が聞かれました。コロナ禍で制限されていたことができるようになり、多くの体験や学習を通して児童たちが成長したことを感じる機会になりました。



**やさかこども園**  
かがやく瞳

**節分の豆まき**

稲荷山の鬼から2月2日(金)に園に行くという手紙が来て、怖がる園児もいましたが、人間の心の中の悪い鬼が欲しいと言うので、自分の直したいところを考え、持ってもらうことになりました。鬼のお面、豆を入れる升を用意し、鬼が嫌うあせば、びんか、ヒイラギを採って来ました。鬼札も作って部屋に貼り、2日を迎えました。鬼が現れ、やる気も恐怖に変わりましたが、勇気を出して鬼に豆を投げました。鬼が持ってきた袋に直したいところを書いた紙を入れに行き、全員が入れ終わると満足そうに去っていったので、安心した園児たちでした。



《 3月の主な行事 》

日曜日	行事名	時間	場所
1 金	坂下高校卒業式	10:00~	坂下高校
8 金	坂下中学校卒業式	9:00~	坂下総合体育館
13 水	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
19 火	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
22 金	坂下小学校卒業式	9:00~	坂下小学校
25 月	やさかこども園卒園式	10:00~	やさかこども園
26 火	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
29 木	やさか地区農業委員会 農地相談	9:00~ 9:30~	坂下総合事務所第1庁舎

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週 月・木曜日
燃えないごみ	3月6日(水)
資源・硬質ごみ	3月13日(水)
大型ごみ	3月15日(金)
有害ごみ	3月の収集はありません

人口と世帯数 (令和6年2月1日現在)

人口	4,054人(前月比10人減)
	男1,964人、女2,090人
世帯数	1,655世帯(前月比3世帯減)

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所
電話 0573-75-2111
FAX 0573-75-4704
Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp

慶弔のお知らせ

1月11日から2月10日の  
坂下総合事務所への届出分

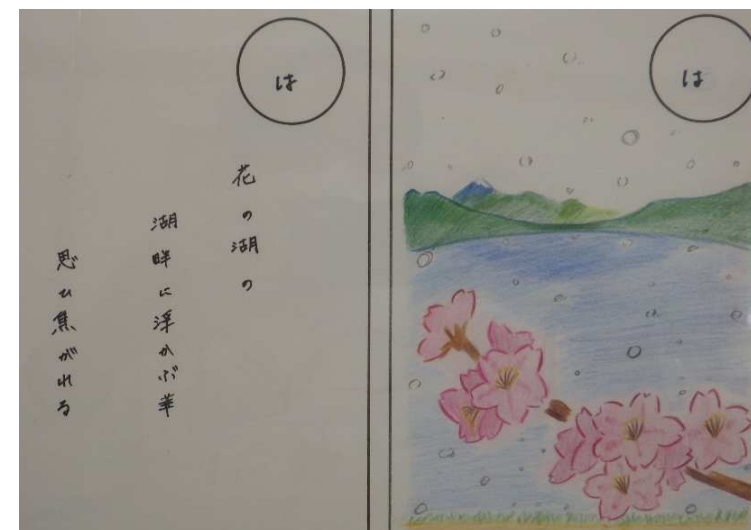
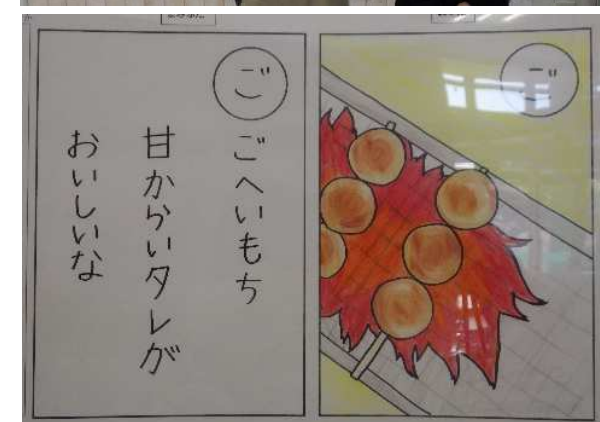
○ご誕生 (敬称略)			
村田	慎二	男 (忠之)	島平二
●ご逝去			
田口	けさ	(95歳)	上鐘一
吉村	はじめ	(76歳)	中外
小林	れい子	(93歳)	西方寺
林	ただ忠	(95歳)	上外
吉村	せつお	(94歳)	東町
林	よりこ	(87歳)	小野沢
松井	やすお	(92歳)	新田
林	みつゑ	(104歳)	島平二
原	すすむ	(82歳)	大門
藤井	かつゑ	(96歳)	矢渕
糸魚川	よしあき	(70歳)	高部一



~やさかじまんカルタ~

2月2日(金)~2月27日(火)、ショッピングセンターサラとやさか地区の各公民館で「やさかじまんカルタ」の展示が行われました。これは、やさか地区の公民館と青少年健全育成推進市民会議の各支部の合同事業として行われたもので、4回目の開催となります。

小・中学生にやさか地区の『じまん』を募集したところ、それぞれの思いの詰まった382枚ものカルタが集まりました。カルタの絵札と読み札には、「花馬祭り」や「椈の湖」、「五平餅」など、子どもたちが思い描く『じまん』が描かれていました。作品を通して、今まで気づかなかった、知らなかった坂下・山口・川上の良いところを発見できました。



大谷選手からグローブが届きました



2月1日(木)、坂下小学校にメジャーリーガーの大谷翔平選手からグローブのプレゼントが届きました。

大谷選手からは「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」とのメッセージもいただきました。

大谷選手からのグローブが届くことを心待ちにしていた児童もいて、廊下に展示すると早速、多くの児童が見たり触ったりして楽しんでいました。ある児童は「本当に届くなんて思っていなかった。」「早く使ってみたい。」と感想を話していました。

今後、校内で回覧した後、体育等で使用していく予定です。

## 「コーヒー焙煎講座」開催

1月28日(日)坂下公民館で、大桑村在住の金田亮さんを講師に迎え「コーヒー焙煎講座」を行いました。

当日はコーヒー好きの受講生のみなさん15人が、5人ずつグループに分かれて、交代しながら生のコーヒー豆をフライパンで焙煎。煎り加減を判断する豆のハゼる音を、しっかり聞いて仕上げました。焙煎した豆はその場で挽き、自分でドリップして、講師の奥様手作りのシフォンケーキといっしょに味わいました。

いろんな年齢・地域の方がグループになりましたが、終始わいわいとおしゃべりが弾み、コーヒーに関する感想の他「いろんな人と話せた」「みんなで協力してできて楽しかった」等の感想があり、久しぶりにまわりの人との交流も楽しめた講座になりました。

受講生は、生の豆を持ち帰り、家でも挑戦するという予定です。



## 菌について学べた「味噌作ってみよう！講座」

コロナ禍を過ぎて、消毒や除菌・抗菌が当たり前の日常になりましたが、もともと私たちはたくさんの菌に囲まれて元気に暮らしていました。

1月16日(火)、坂下公民館で行われた「味噌作ってみよう！講座」では、菌について学びながら、みんなで味噌を作りました。講師は市内の「こうじキッチンこぎちゃん」店主の小木曾淑子さん。今回は、大豆を煮たり、保存容器を準備したりするのも講師にお願いし、託児をつけて、小さい子どもを育児中の保護者でも気軽に参加できるようにしました。

この日に作ったのは、この地域でよく食べられている合わせ味噌。まず、大豆を挽き、米こうじと麦こうじに塩を加えてよく混ぜ合わせ、その後、参加した7人みんな、台の上に広げた大豆とこうじを混ぜ合わせました。この時に身のまわりのいろんな菌が味噌に含まれ、私たちの健康に役立ってくれるとのことでした。

味噌が食べられるのは夏を越してから。参加者は出来上がりを楽しみに、味噌を持ち帰りました。



## 桜の湖畔さくらの開花予想

桜の湖畔の桜は、毎年3月下旬から4月上旬に開花し桜の名所になっています。

開花中は、湖畔の夜桜も楽しんでいただけるようライトアップを行う予定です。ぜひ桜の湖畔の桜をお楽しみください。



## ご寄付をいただきました

1月16日(火)、田口けさ様(故人)のご家族より坂下診療所へご寄付をいただきました。寄付の内容は以下のとおりです。

- ・寄付金額 100,000円
  - ・寄付者の意向 坂下診療所の備品等の購入  
ありがとうございました。
- 問い合わせ先 坂下診療所 TEL75-3118

## 郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員

たぐち のりいち  
田口 憲一

### <百年前の輸送機関 飛騨索道の<sup>さくどう</sup>こと6>

付知の大門中継所から北へ向かう索道の、最初の櫓ではないかと考えられる宗教寺門前の写真です。現在も参道両脇に立つお地蔵さんの脇にある櫓はかなり低く、ワイヤーロープの傾きは急です。想像をたくましくすると、前号その5の大門中継所から右へ延びるワイヤーロープの先がこの写真と繋がるのではないのでしょうか。写真は絵葉書で下に裏木曾名勝妙心派宗教寺とあり、櫓を撮ったものではありません。住職にお見せすると、山門などの建物は全て建て替えており貴重な写真だと言われました。左右のお地蔵さんの位置(中央左右の小屋根)は変わっていないそうです。

次の写真は現在の門前です。手前の辺りに大門の中継所があったはずで、中央に上の写真の櫓があったと思われます。中央にあるポールの先の稜線に、加子母へ繋がる櫓の列があったはずで、

その遺構が山腹にありました。地元のKMさん所有の檜林にコンクリートの基礎が1基あることを聞き、KSさんと現地確認をしました。現地は物凄い急斜面で登ることも大変でしたが、KMさんの情報を頼りにして見つけました。1基しか見つかりませんでしたが、これまでに見た物と同様でした。急斜面なので高さは2m以上ありました。

塞ノ神峠を超えると加子母の万賀駅跡に至ります。駅跡地には別の建物がありますが痕跡は見つかりませんでした。近くにお住まいのKさんの話しでは向こう側の田圃の中に遺構があったようですが、耕地整理で消滅したそうです。

ここでも、櫓の上にあるブーリーの軸に「油差し」をしていた人の話しを聞きました。危険な仕事だったので今も言い伝えられているようです。鎌田宮雄『ふるさと坂下』に収録されているように、賃金<sup>かるわざし</sup>は高いがあぶない作業で軽業師(不安定で危険の多い仕事をして世渡りをする人)まが이었다ようです。



↑ 宗教寺門前にあった櫓  
(大正時代観光絵はがきより)



↑ 現在の宗教寺門前



↑ 万賀駅跡地 中央立木の向こう側



↑ 宗教寺北の急斜面に残る基礎



毎月第3日曜日は「家庭の日」中津川市青少年健全育成推進市民会議

・地域の おじさん おばさん ありがとう